

JP147 中津海岸・宇佐海岸 (なかつかいがん・うさかいがん)

大分県：中津市、宇佐市

福岡県：吉富町、豊前町

位置	N 33° 35′ E 131° 19′
面積	3,800ha

環境構成【干潟】

潮の干満差の大きい海浜とその背後には松林、農耕地、塩田跡など多様な環境が備わっている。もともと白砂青松の海岸であったが、人工護岸化が進み今では自然海岸がほとんど残されていない。しかし、依然として本来の多様な生態系により、数多くの野鳥の生息・越冬を可能にしている。

選定理由

A1	ズグロカモメ
A4i	キアシシギ・ソリハシシギ・チュウシャクシギ

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10 パーセント未満）である

保全への脅威

- ・狩猟（違法的なものを含む）
- ・海岸部後背地の太陽光発電施設。
- ・カワウ（食害）の生息密度
- ・後背地の宅地化、工場開発等

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
減っている
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
<調査データの入手方法>
支部研究部（ズグロカモメを除く）
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：

普通（70～90%が最適の状態）

- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・ 法律制定、政策、規制：実施者（大分県北部振興局）
内容：鳥獣保護区・銃猟禁止区域の指定等
- ・ モニタリング調査：実施者（日本野鳥の会大分県支部）
内容：生息数定期カウント調査
- ・ 環境教育活動
干潟観察会、海岸清掃活動（NPO 法人水辺に遊ぶ会）
自然観察会、ゴミゼロ運動（宇佐自然と親しむ会）

IBA サイトの保全に関する地域のグループ

- ・ 宇佐自然と親しむ会
- ・ 水辺に遊ぶ会

見られる鳥

干潟とその後背湿地には春秋に羽を休める多種多数のシギ・チドリ類、冬季には数千羽のカモ類が越冬する。宇佐海岸では、マナヅルとナベヅルが少数ではあるが、飛来し越冬する。ハヤブサ、ミサゴの通年の狩場であり、冬期にはチュウヒ、コミミズク、オオタカ、チョウゲンボウが加わり猛禽天国となる。

留鳥	ハヤブサ、ミサゴ、ハマシギ、シロチドリ、イソヒヨドリ、アオサギ
夏鳥	コアジサシ
冬鳥	ナベヅル、マナヅル、チュウヒ、コミミズク、ツクシガモ、ズグロカモメ
旅鳥	ツルシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、セイタカシギ
迷鳥	ヤツガシラ

関連団体・自治体・施設等

- ・ 日本野鳥の会熊本県支部

